

平成 23 年度 厚生労働省委託「中小企業モデル賃金制度の研究開発等事業」

中小企業のモデル賃金

～中途採用者の賃金決定～



浜銀総合研究所
横浜銀行グループ

はじめに

本冊子では、中途採用者が多くを占める中小企業において、適切な賃金決定が行える**モデル賃金制度**を紹介しています（平成23年度厚生労働省委託「中小企業モデル賃金制度の研究開発等事業」におけるセミナーテキストを分かりやすく解説したものです）。ここでいう**モデル賃金制度**とは、中小企業事業主の皆様が、自ら賃金制度の見直しに取り組み、かつ労働者の働き方や将来展望に沿った賃金制度となるようなひな形のことです。

昨今の労働市場を見ると、即戦力志向の高まりや、専門知識やノウハウを有する人材への要請が高まっており、こうした状況に対応した賃金制度が求められていることが背景にあります。

更には、一企業内だけではなく、企業間でも**同じ仕事に携わっているのであれば、同じ賃金を支払うべきである**との考え方がますます支持されているようです。仕事に根ざした賃金を導入し、同じ仕事ならばどの会社でも同じ賃金水準となることが、今まさに社会が求めている賃金の仕組みなのではないでしょうか。いわゆる「職務給」と呼ばれる考え方です。

そこで、中小企業が平易な形で「役割評価」を行い、「職務給」設計が容易にできるモデル賃金制度を作成しました。本冊子を参考に中途採用者は勿論のこと、新規学卒者やパート・アルバイトといった非正規労働者についても、納得感のある賃金制度への見直しのヒントにしていただければ幸いです。

目次

1	中途採用者の賃金決定と「職務給」	4
2	「職務給」の設計・導入プロセス	6
3	役割とは？	8
4	役割評価とは？	10
5	役割評価表の作成	12
6	役割評価表の検証	14
7	賃金制度改定に係る方針の設定	16
8	基本給体系の選定	18
9	「職務給」原資の捻出	20
10	役割評価とバランス調整	22
11	ギャップの検証	24
12	移行措置の検討	26
13	周辺施策の整備	28

